

彦根市社会体育施設適正管理計画（概要版）

社会体育施設適正管理計画策定の背景

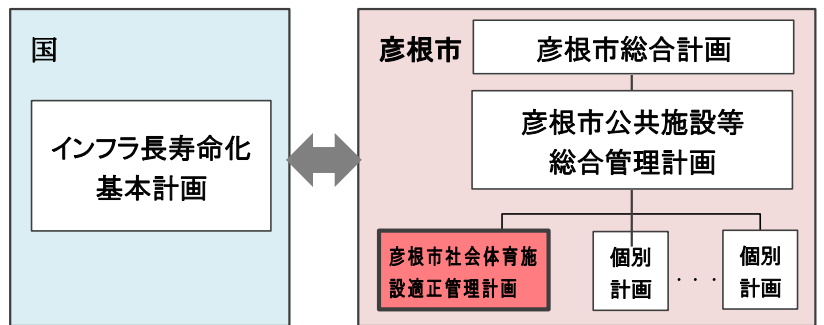
■背景

- 財政状況が厳しい中、公共施設等の老朽化対策が大きな課題
- 人口減少等による公共施設の利用需要の変化
- 「彦根市公共施設等総合管理計画」の策定
- 社会体育施設の今後の管理・運営のあり方の検討

社会教育施設等の今後の管理・運営のあり方を検討し、今後の方針を示す
「彦根市社会体育施設適正管理計画」を策定

■計画の位置づけ

本計画は、彦根市総合計画を上位計画とする「彦根市公共施設等総合管理計画」に基づく施策類型別の「個別計画」として位置づけられます。この総合管理計画及び個別計画は、国の関係省庁連絡会議が示した「インフラ長寿命化基本計画」に基づくものです。



■計画の期間

令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)までの10年間

■対象施設

施設の概要と分布状況は以下のとおりです。

施設名	竣工年	延床面積
①彦根市稲枝地区体育館	昭和58年	770.58 m ²
②彦根市弓道場	昭和58年	141.00 m ²
③彦根市武道場	昭和60年	320.19 m ²



(彦根市稲枝地区体育館)

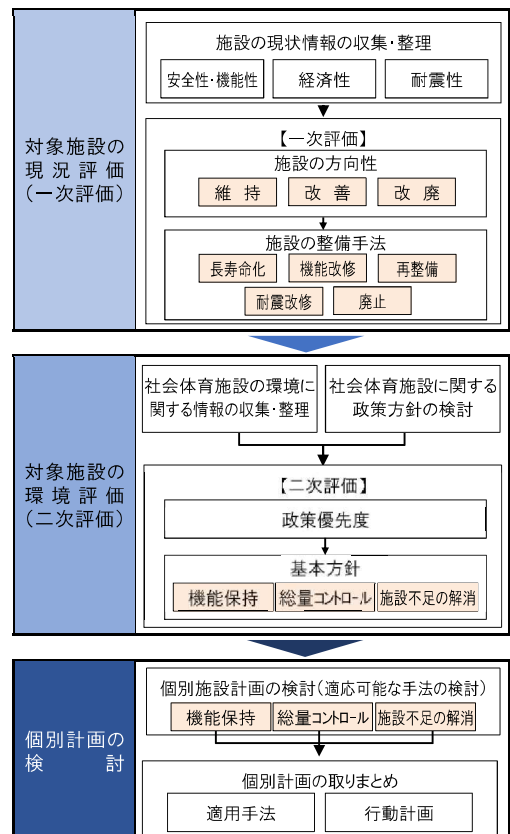
(彦根市弓道場)

(彦根市武道場)



■計画策定の流れ

本計画は、スポーツ庁が示す「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(平成31年4月一部改訂)」の計画策定の手順を踏まえ、計画を策定します。



対象施設の現況評価

対象施設に関する基礎情報をもとに、安全性・機能性、経済性、耐震性について分析し、施設の方向性および整備手法の評価を行いました。

施設名		①彦根市稲枝地区体育館	②彦根市弓道場	③彦根市武道場
安全性・機能性	経過年数	耐用年数の 過半を経過	耐用年数の 過半を経過	耐用年数の 過半を経過
	安全性	躯体の安全性 内部壁面のひび割等がみられるが、ただちに安全性に影響を与えるものではない	鉄骨材の錆がみられるが、ただちに安全性に影響をあたえるものではない	鉄骨材の錆や外壁 ALC 板の割れがみられるが、ただちに安全性に影響をあたえるものではない
	外被性能	一部外被性能に劣化が見られる (天井面からの漏水、軒樋の脱落・破損)	一部外被性能に劣化が見られる (出入口庇の破風成型板の割れ、女子更衣室天井から雨漏り)	一部外被性能に劣化が見られる (木製破風板の割れ・剥離、堅樋ジョイント部外れや呼樋破損による漏水)
	機能性	空間性能 (建築) 一部空間性能に劣化が見られる (ロカールーム床面シートの浮き・波打ち、排煙窓の開閉不良、器具庫や出入口鉄扉枠廻りの成型モルタルの割・剥離等)	一部空間性能に劣化が見られる (射場シャッターの一部破損)	一部空間性能に劣化が見られる (アルミサッシ開閉オペレーターチェーン外れがみられる)
	空間環境性 (電気・機械)	一部空間環境性に劣化が見られる (空調設備が設置されていない、一部の電気コンセントの破損がみられる)	一部空間環境性に劣化が見られる (換気扇作動時に異音がある、換気扇枠の外れがみられる)	一部空間環境性に劣化が見られる (空調設備が設置されていない、室内照明の電気ルート断線がみられる)
	その他	・バリアフリー対応は十分ではないが、ただちに改善が必要ではない	・バリアフリー対応は十分ではないが、ただちに改善が必要ではない	・バリアフリー対応は十分ではないが、ただちに改善が必要ではない
	法令適合性	・特殊建築物等の定期調査で補修・改善を要する項目については補修等の対応が行われている ・建築設備等の定期調査等では改善点の指摘はみられない	・特殊建築物等の定期調査で補修・改善を要する項目については補修等の対応が行われている ・建築設備等の定期調査等では改善点の指摘はみられない	・特殊建築物等の定期調査で補修・改善を要する項目については補修等の対応が行われている ・建築設備等の定期調査等では改善点の指摘はみられない
	施設の安全対策	・AED有 ・ アリーナ床面の傷、摩耗剥離により負傷の危険がある	・AED有	・AED有
	評価	劣	劣	劣
	経済性	更新修繕費	・これまでに一定の改修・修繕が行われている ・定期点検や現地調査を実施し、引き続き計画的な改修・修繕が求められる	・これまでに一定の改修・修繕が行われている ・定期点検や現地調査を実施し、引き続き計画的な改修・修繕が求められる
運営維持管理費		・受付業務の他、警備、清掃、設備保守点検を委託している	・管理運営、警備等を委託している	・管理運営、警備、設備保守点検等を委託している
光熱水費・通信費		・光熱水費が年間 60～70 万円程度となっている	・光熱水費が年間 30～40 万円程度となっている	・光熱水費が年間 30～40 万円程度となっている
収入		・利用料収入が年間 50～60 万円程度となっている	・利用料は無料となっており収入はない	・利用料は無料となっており収入はない
支出		・年間 70～120 万円程度のコストで運営している	・年間 80～90 万円程度のコストで運営している	・年間 80～90 万円程度のコストで運営している
評価		良	良	良
施設の方向性 (一次評価)		改善	改善	改善
耐震性	適合する耐震基準	新耐震基準による建築	新耐震基準による建築	新耐震基準による建築
	耐震診断	—	—	—
	耐震改修	—	—	—
	評価	耐震性あり	耐震性あり	耐震性あり
整備手法		機能改修	機能改修	機能改修

対象施設の環境評価（二次評価）

対象施設について、彦根市のスポーツ施設全体の方針に基づき、施設の現況評価に加え、スポーツ施設の提供・利用の視点から評価を行いました。

施設名	①彦根市稲枝地区体育館	②彦根市弓道場	③彦根市武道場
施設の方向性 (一次評価)	改善	改善	改善
政策優先度	利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 年間400～700回近く利用されており、8,000～10,000人程度の利用となっている 管理委託を受けている弓道連盟が利用しており、小学校低学年から学生、シニア層等幅広い層が利用している 弓道利用者層拡大に向け、体験教室が開催されている 	<ul style="list-style-type: none"> 年間500～600回程度利用されており、10,000～13,000人の利用となっている 小学生から学生、社会人、シニア層等幅広い層が利用している
	ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ活動だけでなく、自治会活動等にも利用される等、近隣住民からの利用ニーズは高いと考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> 管理委託を受けている彦根市武道場管理委員会のメンバーを中心に、身近に無料で活用できる屋内体育施設として利用ニーズが高い
	競技種別	<ul style="list-style-type: none"> 球技や体操等幅広い競技に利用されている (仮称)彦根総合運動公園の整備により市民体育センターが廃止され、屋内体育施設が一時的に少なくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> 専ら弓道に利用されており、施設の特殊性が高く、他競技の利用は難しい
	整備目的 基準適合	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ活動や地域の文化活動等に利用されており、設置目的に応じた利用がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 弓道を通じたスポーツの普及振興につながる利用がなされている
	施設分布	<ul style="list-style-type: none"> 教育施設の体育館を除くと、市内の体育館は現時点で1施設となっている(彦根市スポーツ・文化交流センターが令和4年12月供用開始予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 市内唯一の弓道場となっており、近隣では、長浜市や東近江市に弓道場が立地している 彦根市スポーツ・文化交流センター整備に伴い、新たに機能が大幅に向上する弓道場が整備予定となっている
評価	高	低	高
	↓	↓	↓
基本方針	機能保持	総量コントロール	機能保持

参考:彦根市スポーツ・文化交流センターの整備について

県が第79回国民体育大会の主会場となる県立彦根総合運動場を整備するにあたり、市民体育センターを移設することとなり、併せて金亀公園の再整備についても検討することとなりました。金亀公園を再整備するにあたり、彦根市弓道場は、公園内で機能拡張や建替え等を行うことが困難であったため、移設される彦根市スポーツ・文化交流センター(新市民体育センター)内に、他の市施設との複合化を行い、移設することとなりました。

彦根市スポーツ・文化交流センターには、弓道場のほか、多様な機能が導入される予定です。



個別施設計画

現況評価(一次評価)、環境評価(二次評価)を踏まえ、各対象施設において、適用可能な手法及び今後の行動計画を検討し、個別計画として取りまとめました。

①彦根市稲枝地区体育館

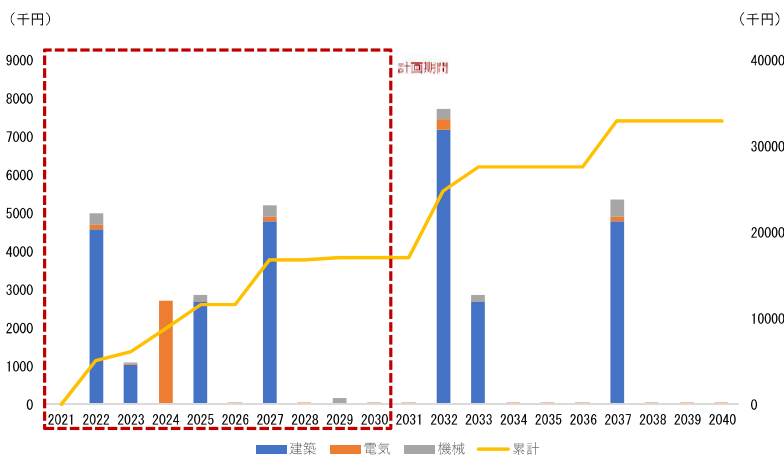
適用可能な手法：**機能保持・機能改修**

- ・ 今後は、適切な修繕・改修を実施し、機能保持を図ります。
- ・ 長期修繕計画(平成29年3月策定)に、修繕・改修内容を反映し、修繕・改修計画を作成しました。

～主な計画内容～

- ・ 2022年：屋根防水対策
- ・ 2023年：水銀灯のLED化
アリーナ木質フロアの傷・摩耗剥離
バリアフリー改善 等

(修繕・改修計画)



②彦根市弓道場

適用可能な手法：**総量コントロール・廃止**

- ・ 新たに整備される彦根市スポーツ・文化交流センター内に、機能が大幅に向上する弓道場が整備される予定のため、現施設は廃止するものとします。

③彦根市武道場

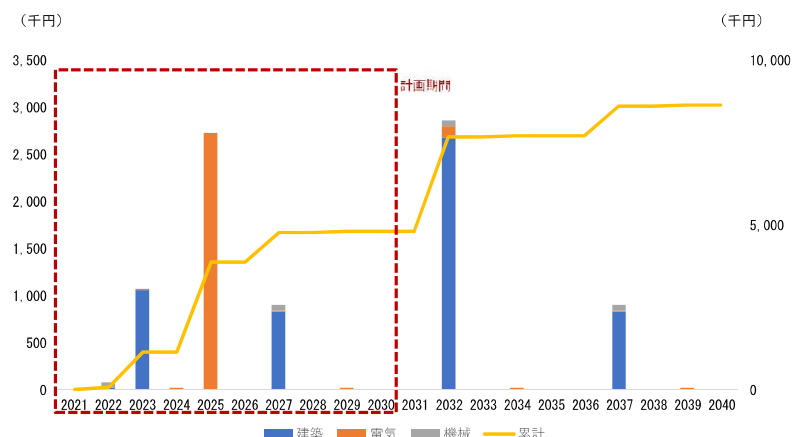
適用可能な手法：**機能保持・機能改修**

- ・ 今後は、適切な修繕・改修を実施し、機能保持を図ります。
- ・ 長期修繕計画(平成29年3月策定)に、修繕・改修内容を反映し、修繕・改修計画を作成しました。

～主な計画内容～

- ・ 2023年：水銀灯のLED化
アリーナ木質フロアの傷・摩耗剥離
バリアフリー改善 等

(修繕・改修計画)



※概算工事費は、「建築物のライフサイクルコスト(国土交通省官庁営繕部監修)の単価により算出(実務価格の工事費と異なる)。

予防保全対策部位・部材は以下のとおりです。

- 建築：構造、屋根、外構、建具、内部仕上げ ほか
- 電気：受変電、発電・静止電源、電力、中央監視設備、通信・情報(防災含む) ほか
- 機械：空調、換気、給排水衛生、消火、ガス ほか

今後の取組について

◎本計画の進行管理は、個別計画の進捗状況について彦根市スポーツ部スポーツ課により検証を行っていくこととし、必要に応じて関係団体に対して報告を行っていくこととします。また、国の政策、社会経済情勢、地域の人口構成およびニーズ等の変化、更には上位・関連計画の改定などに対応しながら、必要に応じて本計画の見直しを行い、PDCAサイクルによる計画の進行管理に努めます。なお、見直しに当たっては、関係団体等の意見を反映しながら改定を行っていくこととします。

◎本計画の推進に当たっては、彦根市スポーツ部スポーツ課を主管課とし、市民、スポーツ関連団体等との協働、関係機関との連携とともに、計画を強力に推進できる体制づくりを行っていきます。

彦根市社会体育施設適正管理計画(概要版) 令和3年3月

彦根市 スポーツ部 スポーツ課 〒522-0001 滋賀県彦根市尾末町1番38号